



# 町民アンケート結果






当別町企画部企画課



## 0. アンケート概要

人口の将来を展望するにあたって、住民の意向（生活の満足度、定住意向、結婚・出産等に関する意識、地元就職の希望等）を把握するためのアンケート調査を以下の3種類実施した。

【図表】 アンケート概要

	1. 町民 アンケート	2. 若年者 アンケート	3. 中学生 アンケート
対象	一般町民 (23歳以上) 	15～22歳 の町民 	中学校生徒 
配布数	1,000票	400票	450票
配布方法	郵送配布	郵送配布	学校配布
回収数	313票	88票	434票
回収率	31.3%	22.0%	96.4%

回収数・回収率は7月15日回収時点。

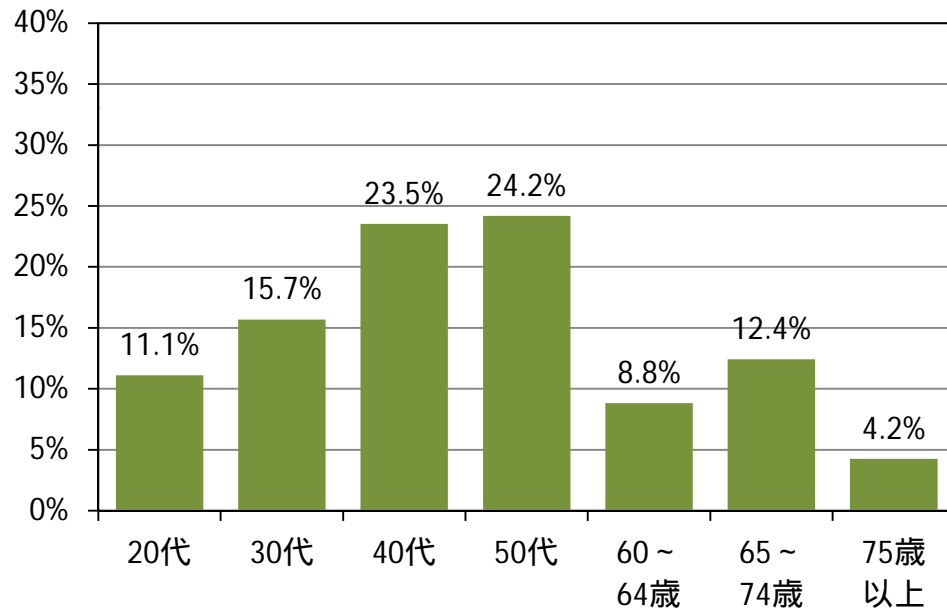


# 1. 町民アンケート結果 【回答者属性】

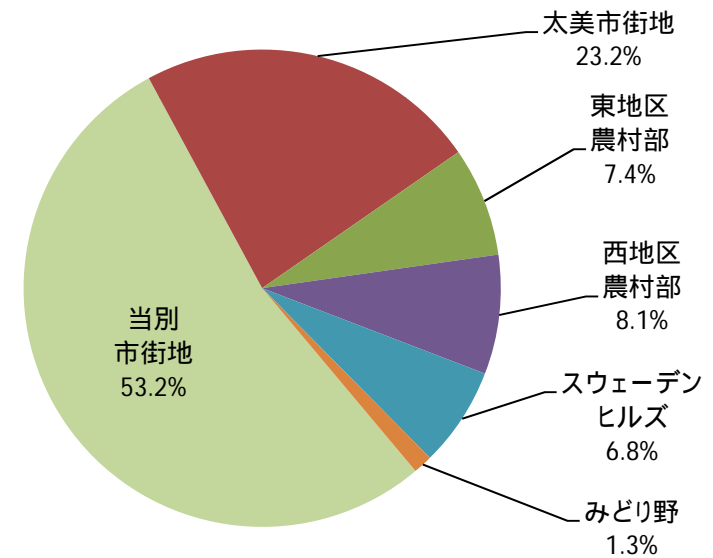


年齢構成では、40代・50代の回答が多い。  
居住地区では当別市街が53%を占める。

【図表】 年齢



【図表】 居住地区





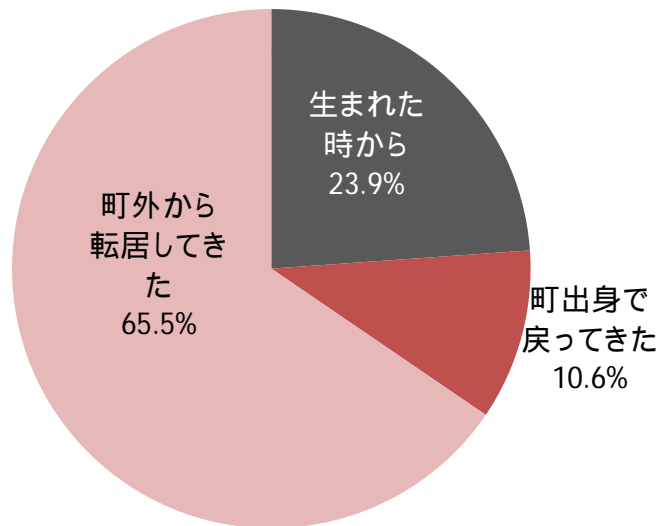
# 1. 町民アンケート結果 【町内居住経験・転入理由】



「いつから当別町に住んでいますか？」との設問に対し、「町外から転居してきた」が最も多く65%を占めた。

「当別町に住むことになったきっかけは何ですか？（複数回答可）」との設問には、「住宅購入（38%）」が最も多く「結婚・離婚などの家庭の理由（16%）」や「親（子）との同居・近居のため（13%）」なども多かった。

【図表】 町内居住経験



【図表】 当別町への転入理由

	選択数	選択率
自身・家族の就学のため	4	1.7%
自身・家族の就職のため	18	7.8%
自身・家族の転勤のため	27	11.7%
自身・家族の転職のため	15	6.5%
自身・家族の離職・引退のため	5	2.2%
結婚・離婚など家庭の理由	36	15.7%
親（子）との同居・近居のため	29	12.6%
子育て環境上の理由	20	8.7%
健康上の理由	4	1.7%
通勤、通学の利便性のため	11	4.8%
住宅購入	88	38.3%
北海道移住・郊外移住	23	10.0%
その他	14	6.1%
当該設問の有効回答数	230	

選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。

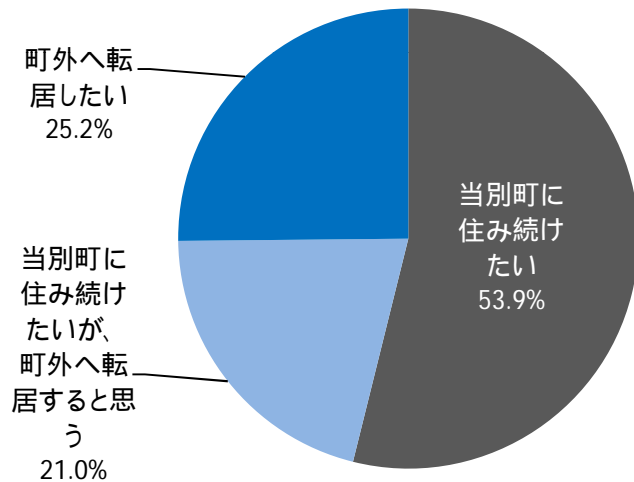


# 1. 町民アンケート結果 【町内居住意向・転居する理由】



居住意向では「当別町に住み続けたい」が最も多く、54%を占めた。町外へ転居する(したい)理由では「積雪や冬の寒さの負担軽減のため(72%)」が最も多く、ほかには「買い物や娯楽などの利便性のため(46%)」や「医療や福祉サービスの利便性のため(42%)」などが多かった。

【図表】 居住意向



【図表】 町外へ転居する(転居したい)理由

理由	選択数	選択率
自身・家族の就学のため	7	5.0%
自身・家族の就職のため	14	10.0%
自身・家族の転勤のため	12	8.6%
自身・家族の転職のため	8	5.7%
自身・家族の離職・引退のため	7	5.0%
結婚・離婚など家庭の理由	2	1.4%
親(子)との同居・近居のため	8	5.7%
子育て環境上の理由	11	7.9%
健康上の理由	9	6.4%
通勤、通学の利便性のため	42	30.0%
買い物や娯楽などの利便性のため	64	45.7%
医療や福祉サービスの利便性のため	59	42.1%
積雪や冬の寒さの負担軽減のため	101	72.1%
その他	13	9.3%
有効回答数	140	

選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。



# 1. 町民アンケート結果 【転出抑制のため取り組むべき施策】



前頁の転出理由を解決するために、町が積極的に取り組むべきだと考える施策を選択肢から選んでもらった。（複数選択可）  
 その結果、「除雪サービスの充実」との回答が最も多く、選択率は76%であった。次いで「老後も安心して生活できる福祉サービスの充実」や「商業施設の誘致」などが多かった。

【図表】 転出抑制のために町が取り組むべき施策

	選択数	選択率
企業誘致による就業場所の確保	45	33.8%
老後も安心して生活できる福祉サービスの充実	59	44.4%
土地・住宅の取得費用支援	8	6.0%
通勤・通学費用の助成	29	21.8%
商業施設の誘致	55	41.4%
高次医療などの医療サービスの充実	51	38.3%
除雪サービスの充実	101	75.9%
その他	20	15.0%
当該設問の有効回答数	133	

選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。

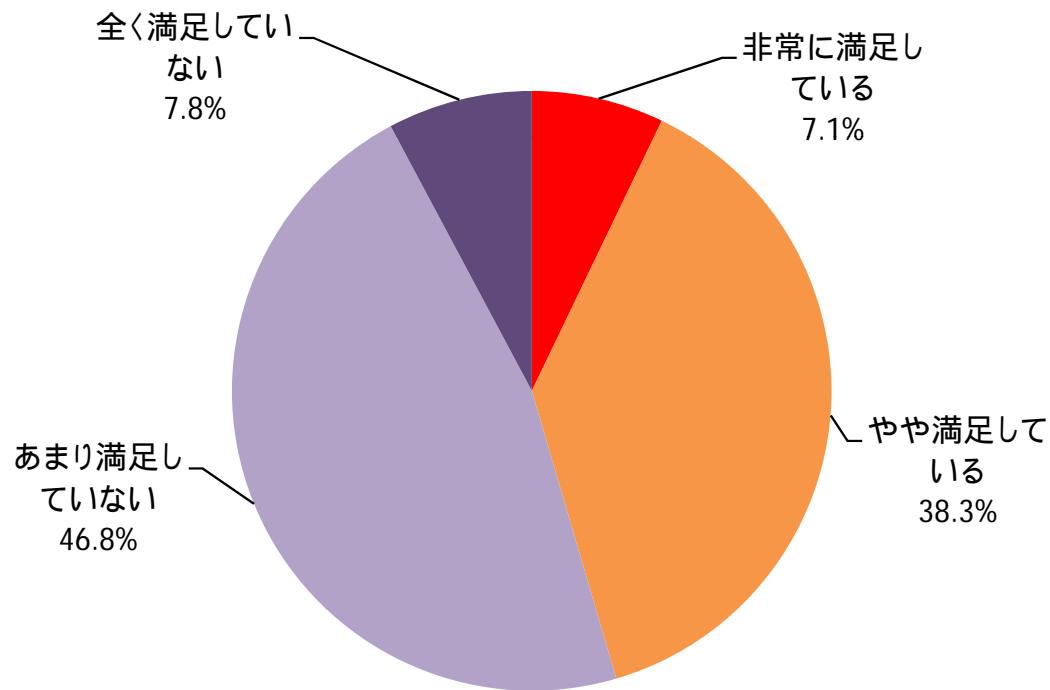


## 1. 町民アンケート結果 【居住の満足度】



「当別町での居住に満足していますか？」との設問に対し、「あまり満足していない」が最も多く47%を占めた。「全く満足していない」と「あまり満足していない」を合計すると、55%と過半数となった。

【図表】 当別町での居住の満足度



無回答を除く。

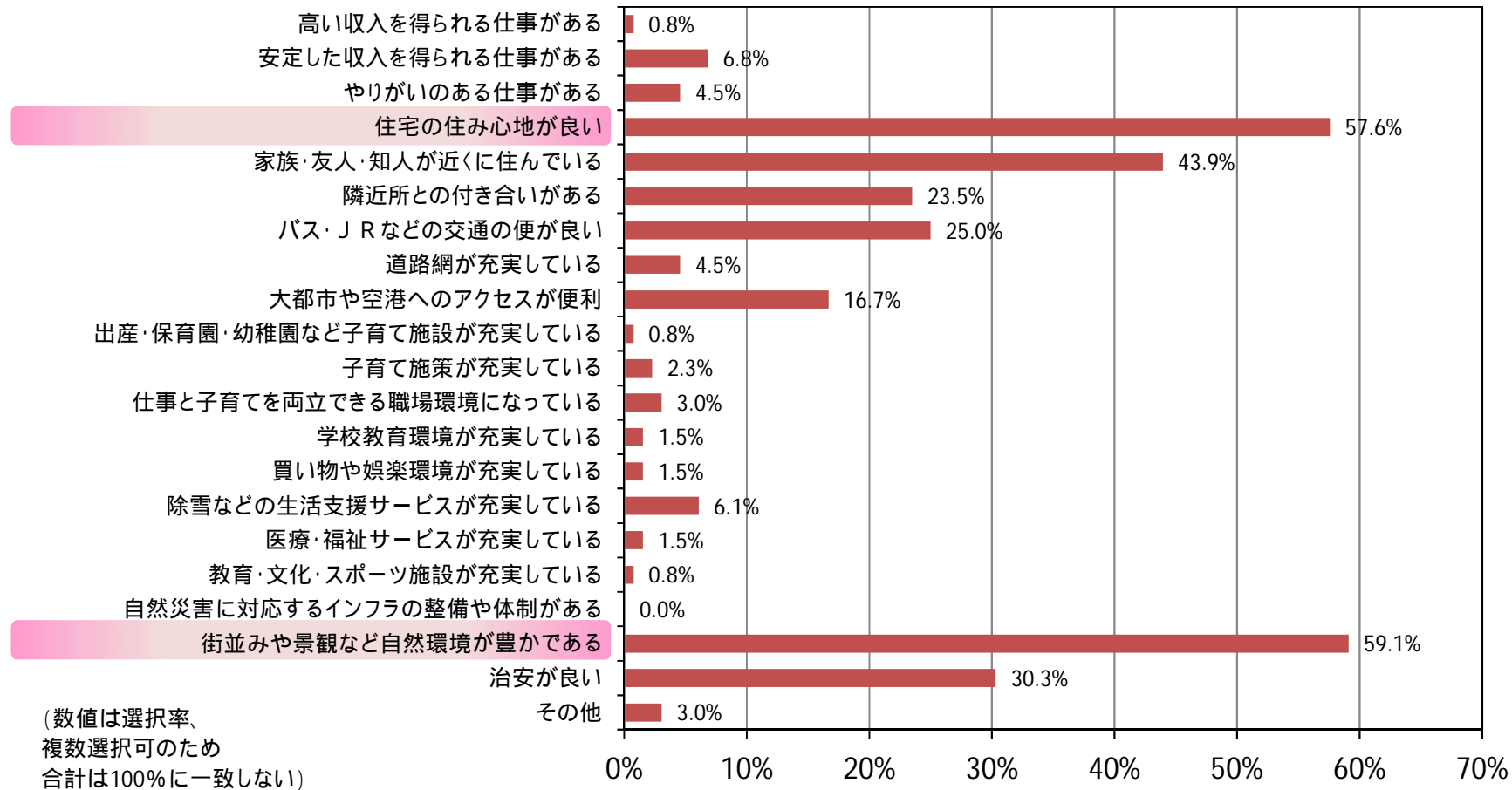


# 1. 町民アンケート結果 【当別町に満足している理由】



「街並みや景観など自然環境が豊かである（59%）」や「住宅の住み心地が良い（58%）」などの理由を挙げるものが多かった。

【図表】 当別町での居住に満足している理由





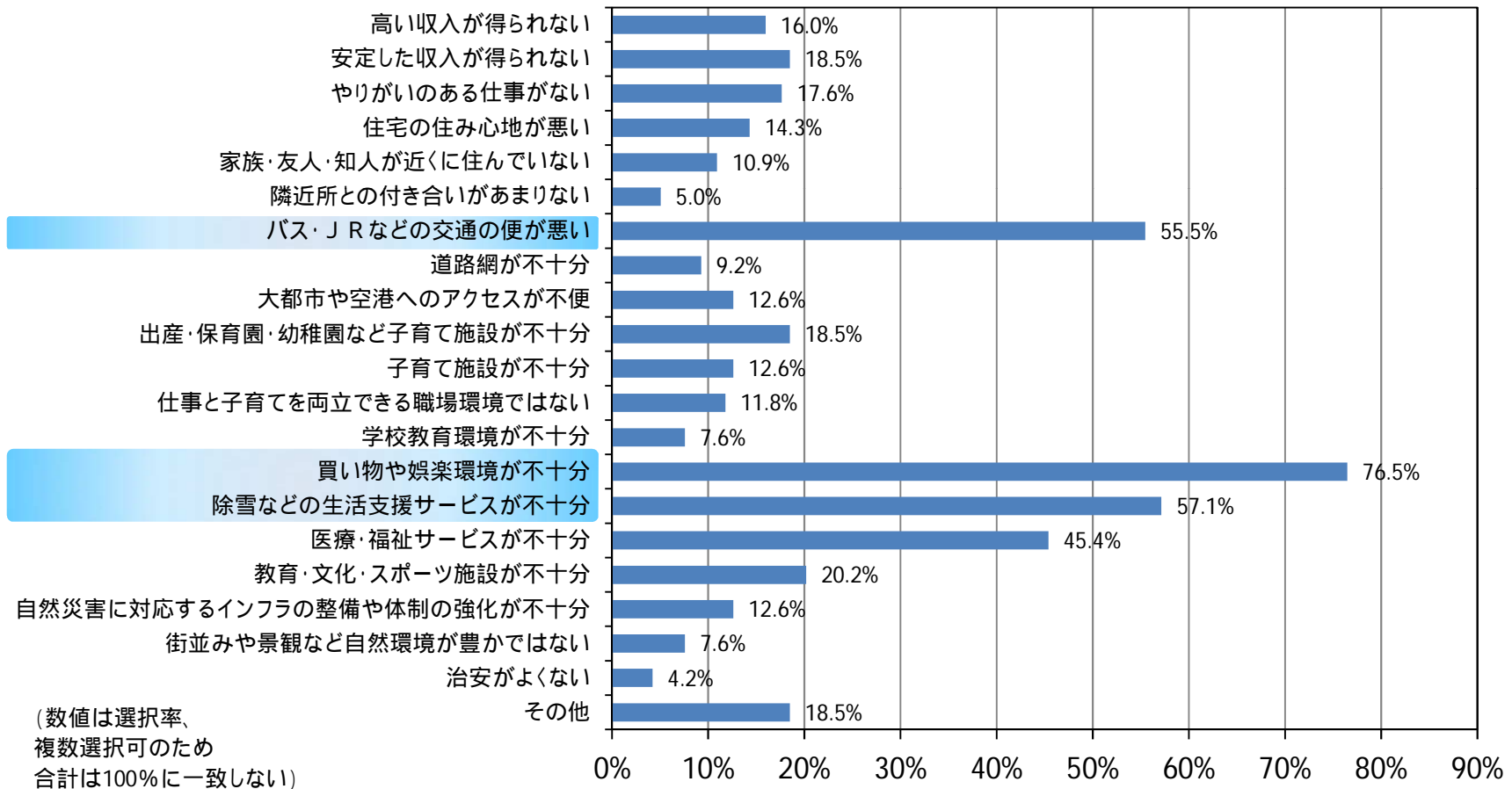


# 1. 町民アンケート結果 【当別町に満足していない理由】



「買い物や娯楽環境が不十分（76%）」、「除雪などの生活支援サービスが不十分（57%）」や「バス・JRなどの交通の便が悪い（55%）」などの理由を挙げるものがあった。

【図表】 当別町での居住に満足していない理由



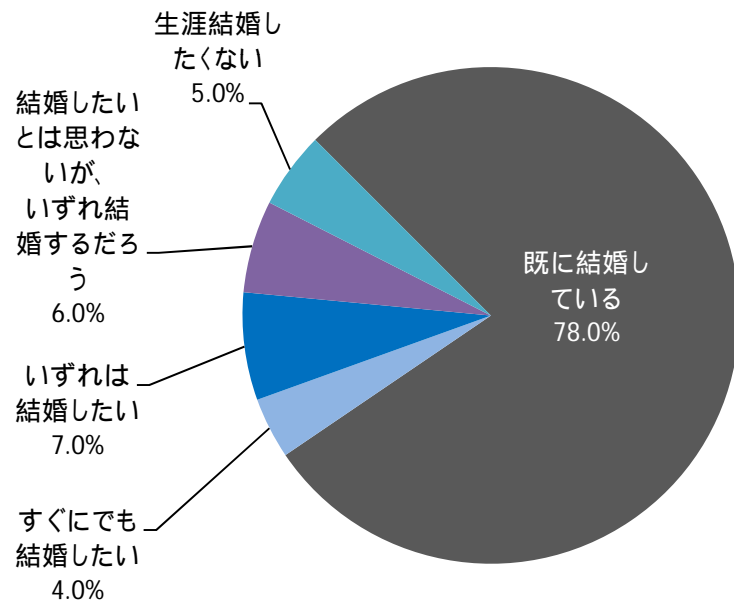


# 1. 町民アンケート結果 【結婚】



結婚については、「既に結婚している」が78%を占め最も多かった。残り22%のうち、最も多いのは「いずれは結婚したい(7%)」であった。  
 「結婚したいと思わない理由(複数回答可)」は、「自由な生き方や生活がしたい」が最も多かった。

【図表】 結婚意向



【図表】 結婚したいと思わない理由

	選択数	選択率
経済的余裕が無い	11	33.3%
仕事不安定	6	18.2%
自由な生き方や生活がしたい	12	36.4%
仕事等に打ち込みたい	4	12.1%
家事・育児の負担が増える	5	15.2%
親族が増えるのが煩わしい	4	12.1%
交友関係を制限されたくない	4	12.1%
年齢的理由・健康上の理由	10	30.3%
相応しい相手に巡り合わない	7	21.2%
異性とうまく付き合えない	6	18.2%
親の介護など家庭の事情	3	9.1%
結婚する必要を感じないから	11	33.3%
その他	4	12.1%
当該設問の有効回答数	31	

選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。

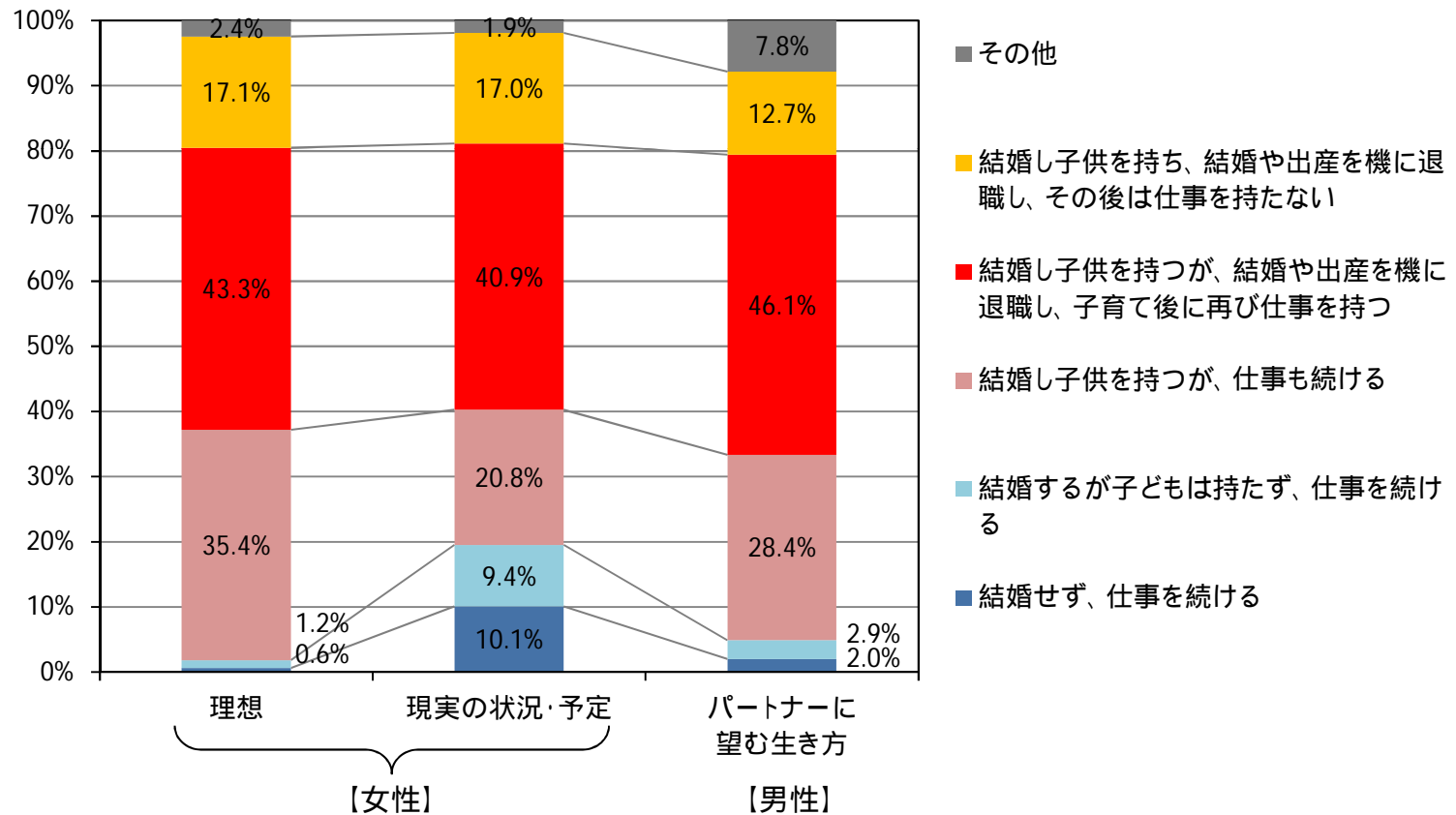


# 1. 町民アンケート結果 【女性の結婚と仕事に対する考え方】



全ての回答者を対象に、「女性の結婚と仕事に対する考え方」を質問した。女性は「理想とする生き方」と「現実の状況・予定」を、男性は「パートナーに望む生き方」を回答いただいた。

【図表】 女性の結婚と仕事に対する考え方



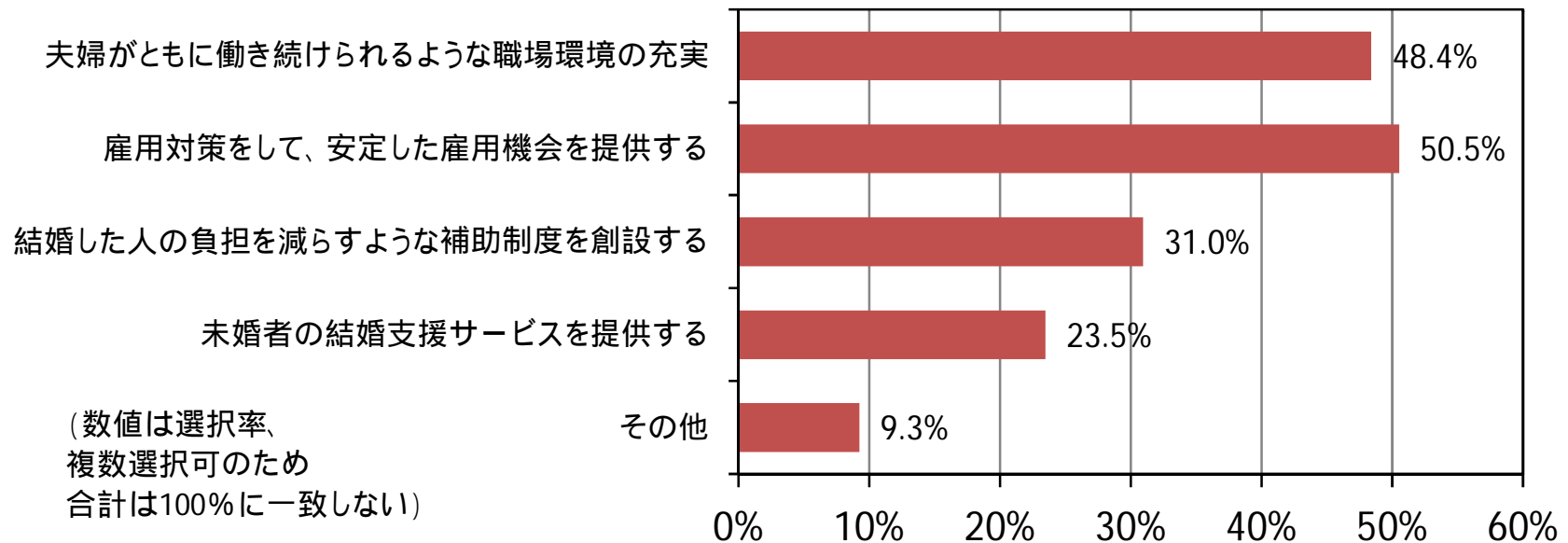


# 1. 町民アンケート結果 【結婚支援策】



「結婚支援に向けて、積極的に取り組むべきだと考える施策」を選択肢から選んでもらったところ、「雇用対策をして、安定した雇用機会を提供する（51%）」「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実（48%）」との回答が多かった。

【図表】 結婚支援に向けて積極的に取り組むべき施策



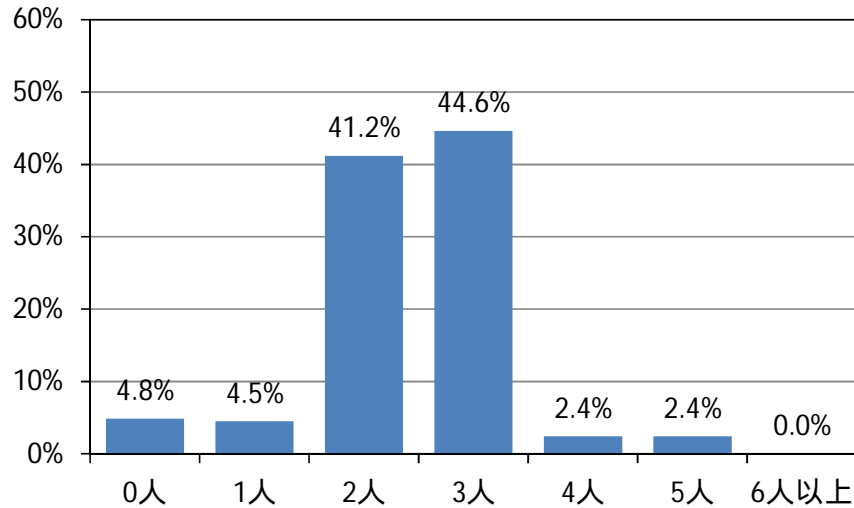


# 1. 町民アンケート結果 【子育て 子どもの数】

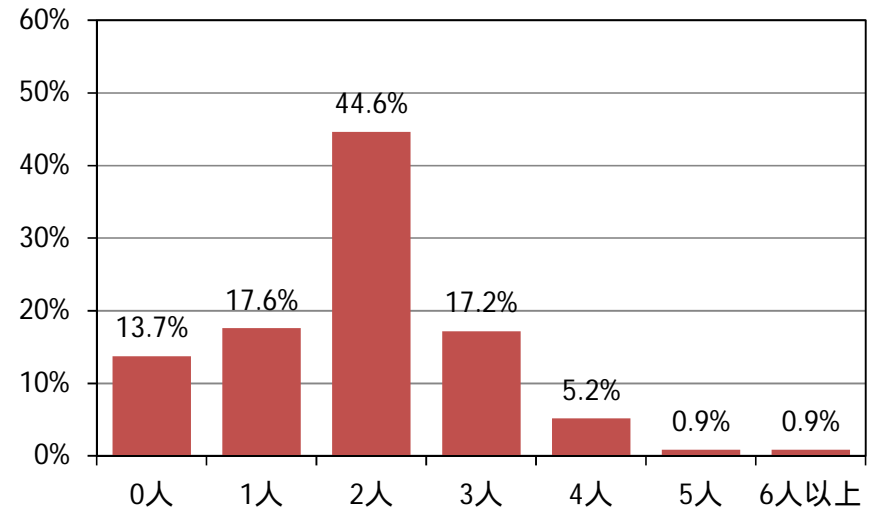


「理想とする子どもの数」は「3人」との回答が最も多かった。  
「実際の子どもの数」は「2人」との回答が最も多かった。

【図表】 理想とする子どもの数



【図表】 実際の子どもの数



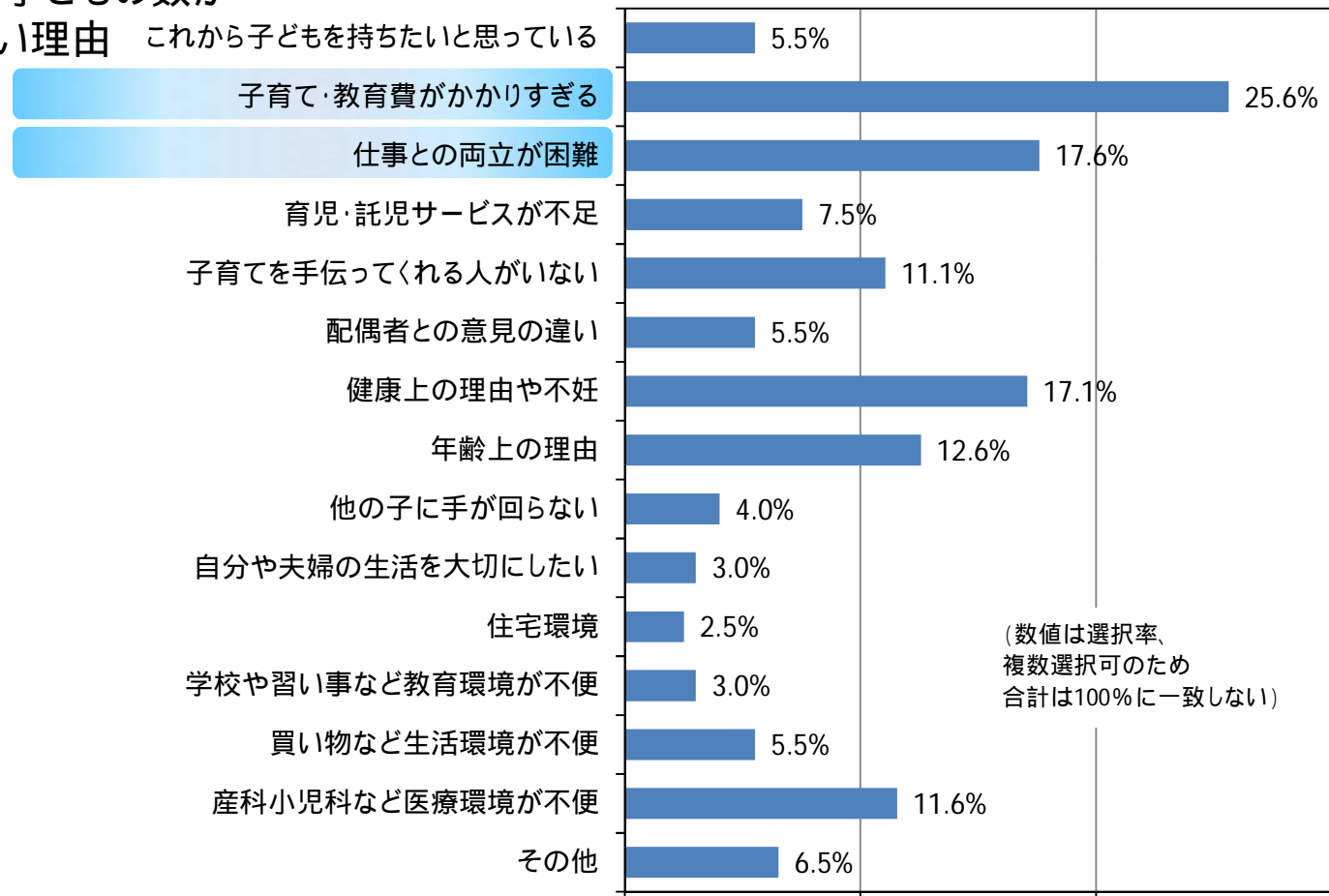


# 1. 町民アンケート結果 【子育て 子どもの数が理想より少ない理由】



「理想とする数より現在の子ども数が少ない理由（複数回答可）」は、「子育て教育費がかかりすぎる（26%）」との回答が最も多かった。次に多いのは「仕事との両立が困難（18%）」であった。

【図表】 実際の子ども数が理想よりも少ない理由



(数値は選択率、複数選択可のため合計は100%に一致しない)

選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。

0% 10% 20% 30%

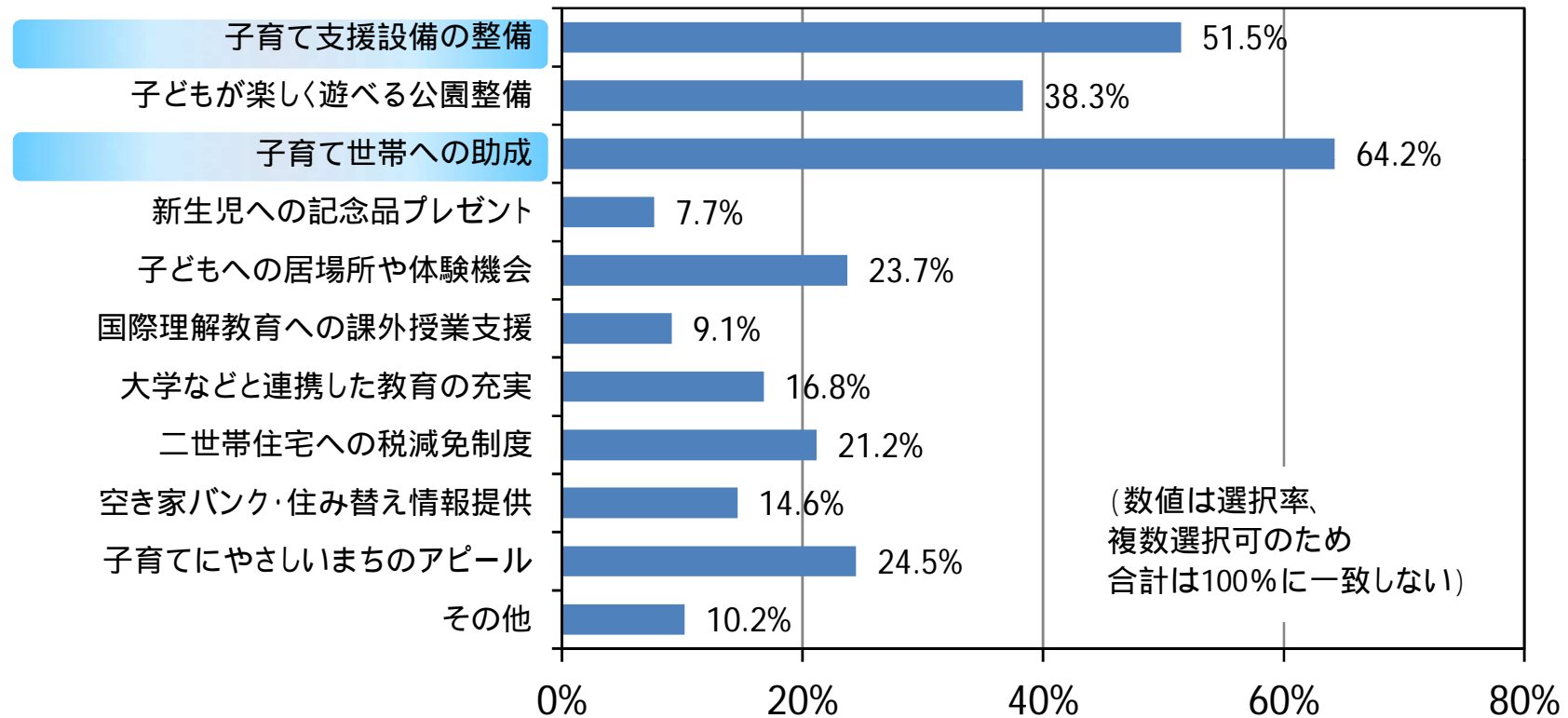


# 1. 町民アンケート結果 【子育て 施策】



子育て支援に向けて、積極的に取り組むべきだと考える施策は、「子育て世帯への助成（64%）」や「子育て支援施設の整備（51%）」との回答が多かった。

【図表】 子育て支援に向けて、積極的に取り組むべきだと考える施策



選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。

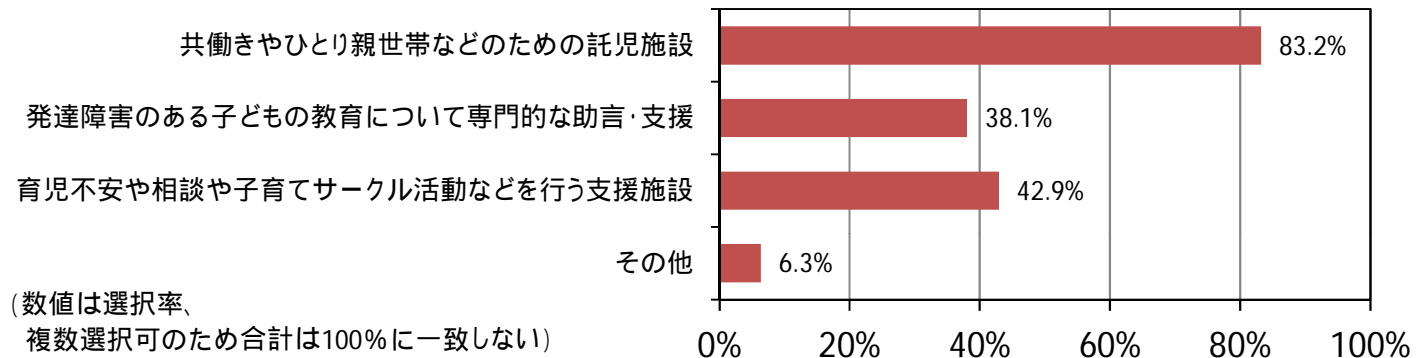


# 1. 町民アンケート結果 【子育て 施設整備・助成】

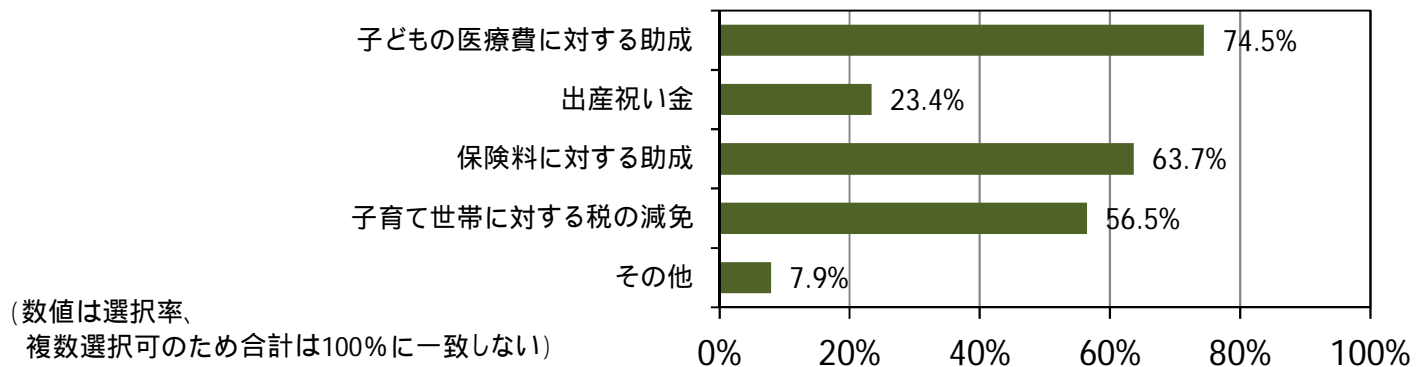


必要と考える「施設整備」については「託児施設（83%）」との回答が多かった。  
必要と考える「子育て世帯への助成」については、「子どもの医療費（74%）」や「保険料（64%）」、「税の減免（56%）」との回答が多かった。

【図表】 必要だと考える子育て支援施設の整備



【図表】 必要だと考える子育て世帯への助成



選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。



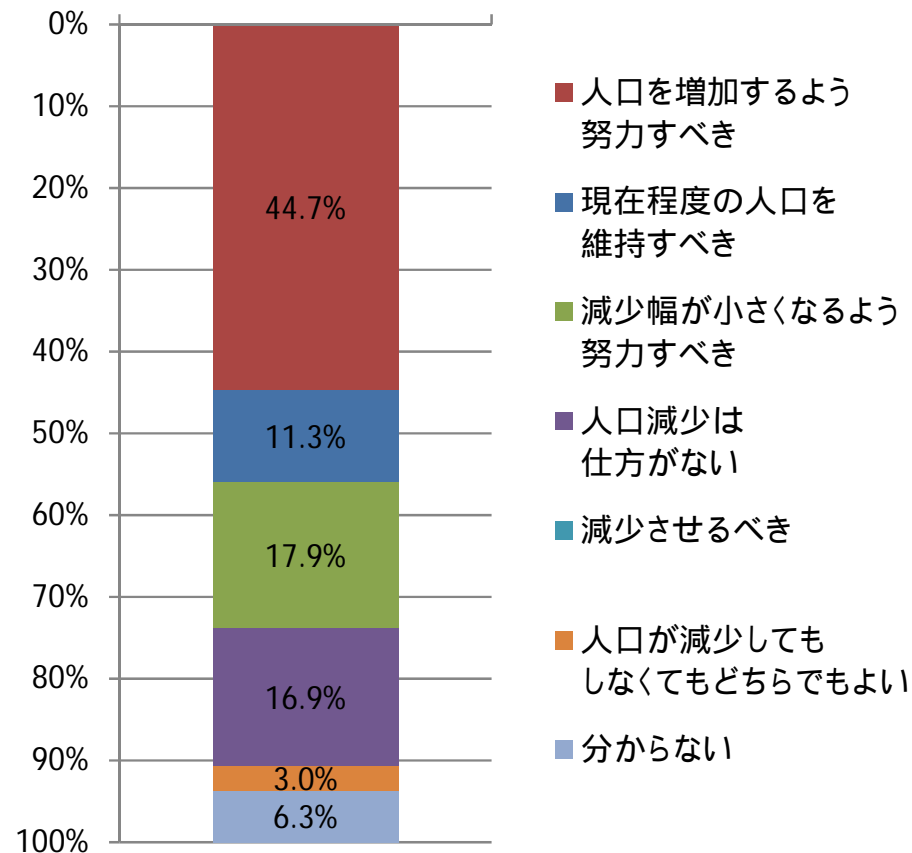


## 1. 町民アンケート結果 【人口減少に対する考え方】



当別町の人口減少に対して、回答者の考えに最も近い選択肢を1つ選んでもらったところ、「人口を増加するよう努力すべき（45%）」が最も多かった。

【図表】 人口減少に対する考え方



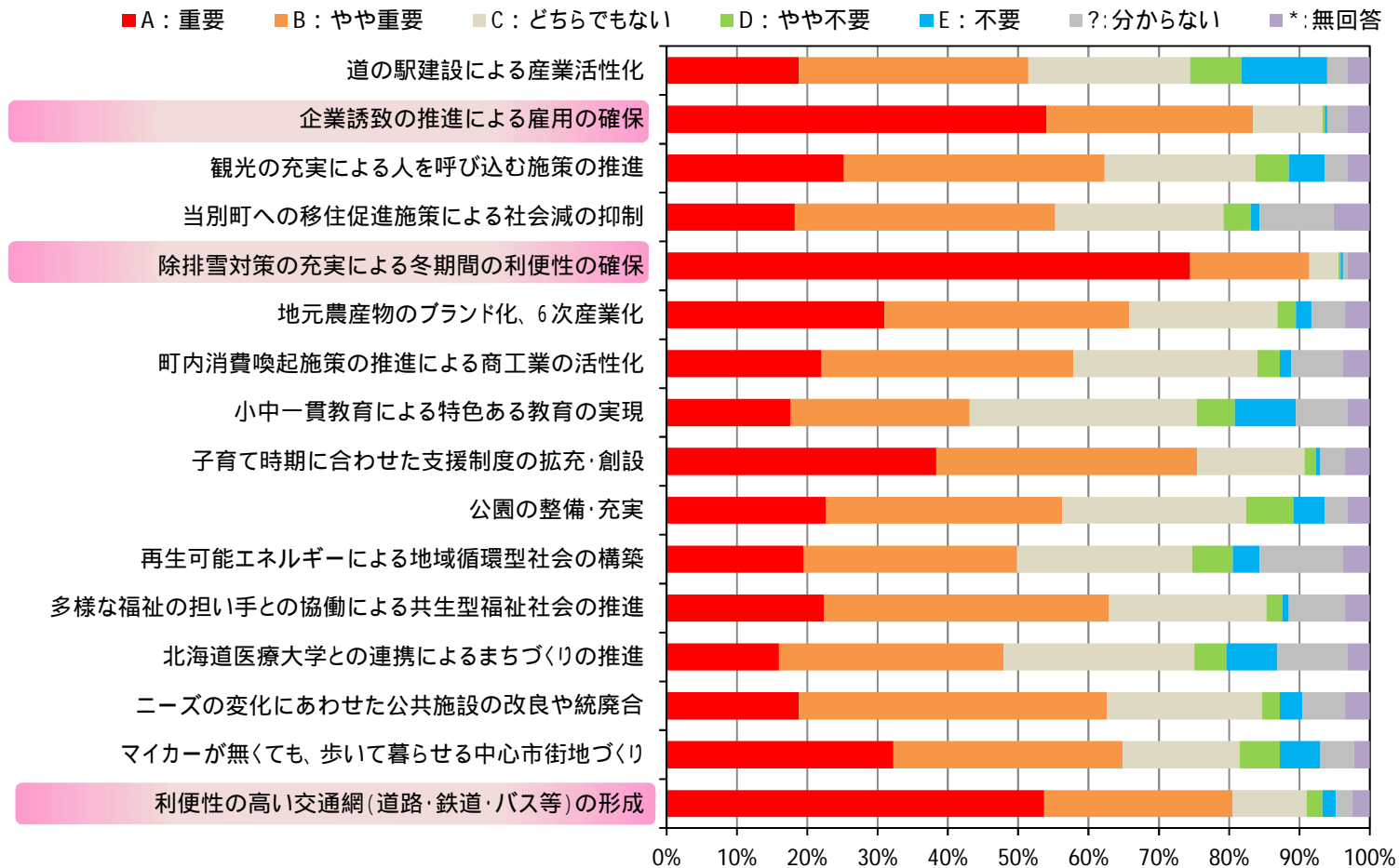


# 1. 町民アンケート結果 【人口減少対策としての重要度】



「人口減少対策として魅力あるまちづくりを進める上で重要か」を評価いただいたところ、「除排雪対策の充実による冬期間の利便性向上」や「企業誘致の推進による雇用の確保」「利便性の高い交通網（道路・鉄道・バス等）の形成」が重要との回答が多かった。

【図表】 人口減少対策としての重要度



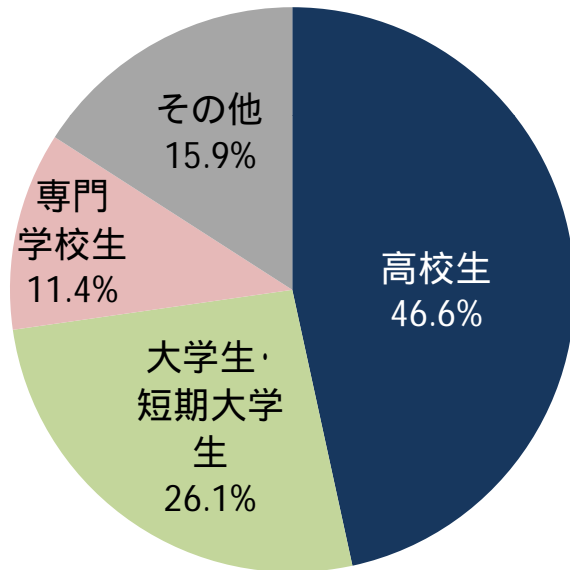


## 2. 若年者アンケート結果 【職業・通勤通学先】



回答者の47%は高校生、26%は大学生・短期大学生、11%は専門学校生であった。通勤通学先は「札幌市」が66%と最も多く、区別の内訳では「北区」「中央区」が多かった。

【図表】 回答者の職業



【図表】 通勤・通学先

	回答数	構成比
当別町内	19	21.8%
札幌市	57	65.5%
町外	11	12.6%
通勤通学していない	0	0.0%
合計	87	100.0%

札幌市内訳	回答数
北区	18
中央区	15
豊平区	5
他の区	7
区不明	12



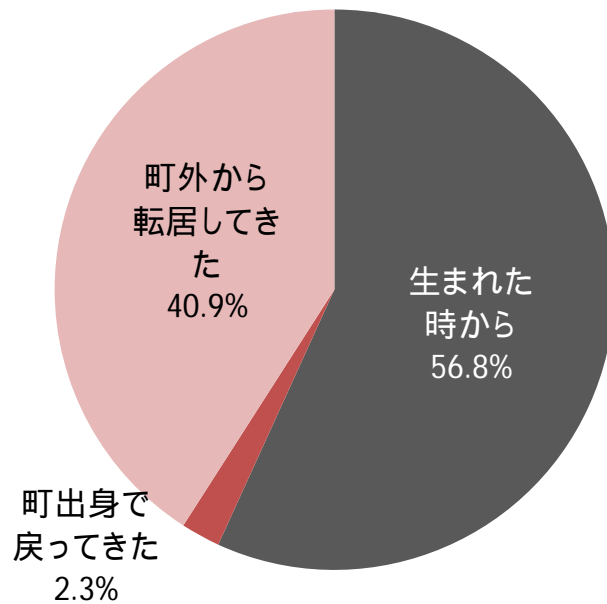
## 2. 若年者アンケート結果 【町内居住経験・転入理由】



「いつから当別町に住んでいますか？」との設問に対し、「生まれた時から」が最も多く57%を占めた。

「当別町に住むことになったきっかけは何ですか？（複数回答可）」との設問には、「住宅購入（51%）」が最も多かった。

【図表】 町内居住経験



【図表】 当別町への転入理由

	選択数	選択率
自身・家族の就学のため	5	13.5%
自身・家族の就職のため	2	5.4%
自身・家族の転勤のため	4	10.8%
自身・家族の転職のため	0	0.0%
自身・家族の離職・引退のため	0	0.0%
結婚・離婚など家庭の理由	1	2.7%
親(子)との同居・近居のため	5	13.5%
子育て環境上の理由	5	13.5%
健康上の理由	1	2.7%
通勤、通学の利便性のため	2	5.4%
住宅購入	19	51.4%
北海道移住・郊外移住	2	5.4%
その他	1	2.7%
当該設問の有効回答数	37	

選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。

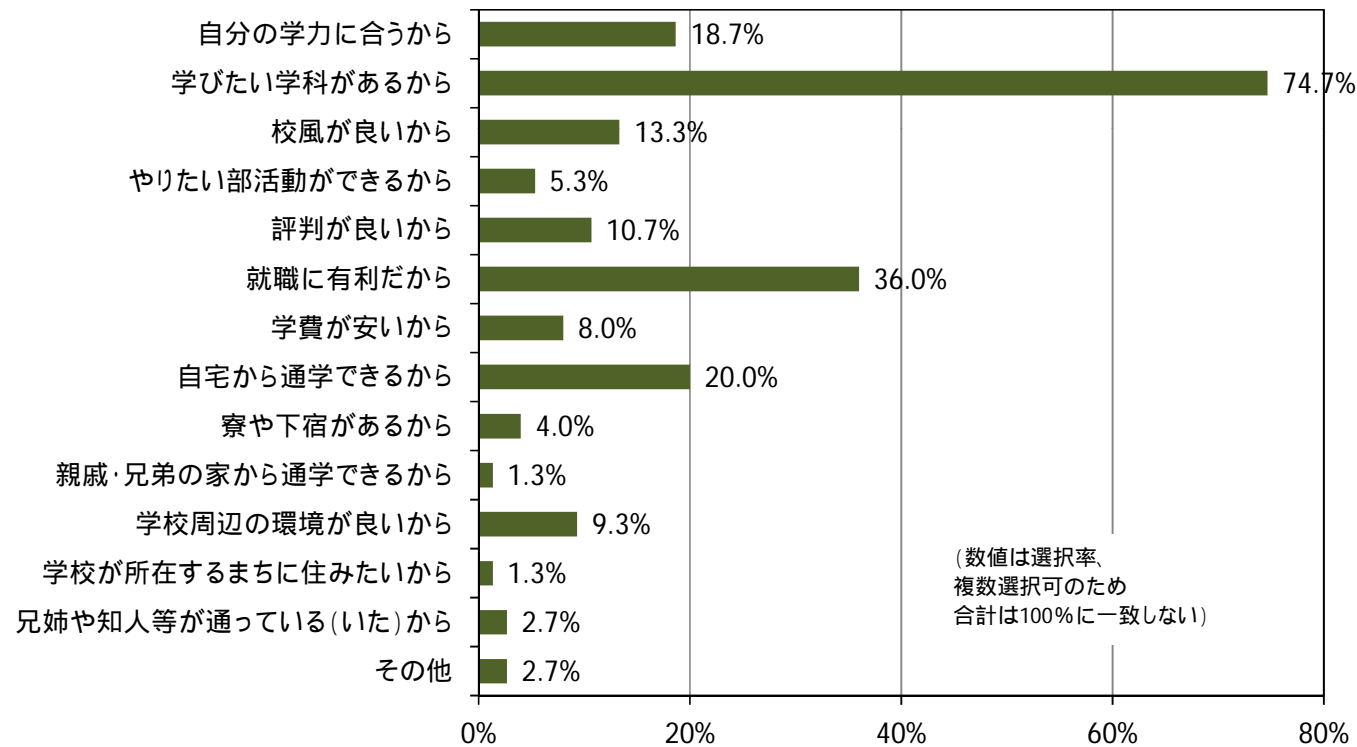


## 2. 若年者アンケート結果 【大学などの進学先の選択理由】



「大学等の進学先を選ぶ（選んだ）理由」は、「学びたい学科があるから（75%）」が最も多く、次いで「就職に有利だから（36%）」や「自宅から通学できるから（20%）」が多かった。

【図表】 大学などの進学先の選択理由



選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。



## 2. 若年者アンケート結果 【希望就職地】



「どこで就職したいと思いますか」との設問に対し、「北海道内」が最も多く79%を占め、その内訳では札幌市が最も多く、全体の過半数を占めた。

【図表】 希望就職地

	回答数	構成比	道内の内訳	回答数
当別町内	8	9.4%	札幌市	43
北海道内	67	78.8%	その他	24
北海道外	10	11.8%		
合計	85	100.0%		

無回答を除く



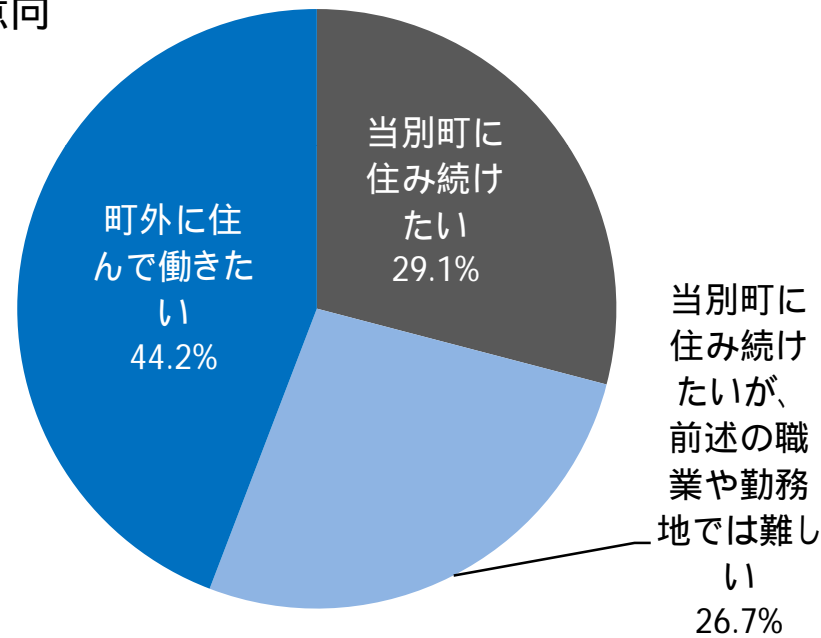
## 2. 若年者アンケート結果 【将来の居住意向】



「就職後も当別町に住んでいたいと思いますか」との設問に対し、「町外に住んで働きたい」が最も多く46%であった。

「当別町に住みつづけたい」は29%であった。

【図表】 将来の居住意向



無回答を除く



## 2. 若年者アンケート結果 【住んでいたい/町外に住みたい理由】



「当別町に住んでいたい理由」では「住み慣れた町だから（77%）」が最も多く、「町外に住みたい理由」では「通勤の利便性を求めて（68%）」「買い物や娯楽などの利便性を求めて（58%）」などが多かった。

【図表】 当別町に住んでいたい理由

	選択数	選択率
家族と一緒に生活したいから	22	46.8%
住み慣れた町だから	36	76.6%
友人がいるから	12	25.5%
日常生活が便利だから	6	12.8%
住宅条件が良いから	5	10.6%
その他	4	8.5%
当該設問の有効回答数	47	

【図表】 町外に住みたい理由

	選択数	選択率
通勤の利便性を求めて	26	68.4%
買い物や娯楽などの利便性を求めて	22	57.9%
医療や福祉サービスの利便性を求めて	4	10.5%
積雪や冬の寒さの負担軽減を求めて	13	34.2%
独り暮らしをしたいから	15	39.5%
その他	3	7.9%
当該設問の有効回答数	38	



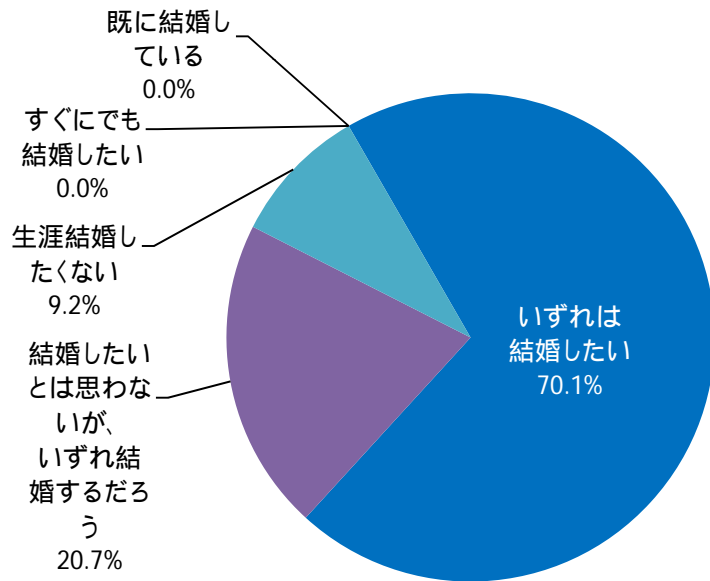


## 2. 若年者アンケート結果 【結婚】



結婚については、「いずれは結婚したい」が70%を占め最も多かった。  
「結婚したいと思わない理由（複数回答可）」は、「自由な生き方や生活がしたい」や  
「結婚する必要を感じないから」との回答が多かった。

【図表】 結婚意向



【図表】 結婚したいと思わない理由

	選択数	選択率
経済的余裕が無い	3	11.5%
仕事が不安定	0	0.0%
自由な生き方や生活がしたい	16	61.5%
仕事等に打ち込みたい	2	7.7%
家事・育児の負担が増える	4	15.4%
親族が増えるのが煩わしい	3	11.5%
交友関係を制限されたくない	5	19.2%
年齢的理由・健康上の理由	0	0.0%
相応しい相手に巡り合わない	5	19.2%
異性とうまく付き合えない	8	30.8%
親の介護など家庭の事情	1	3.8%
結婚する必要を感じないから	14	53.8%
その他	2	7.7%
当該設問の有効回答数	26	

選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。



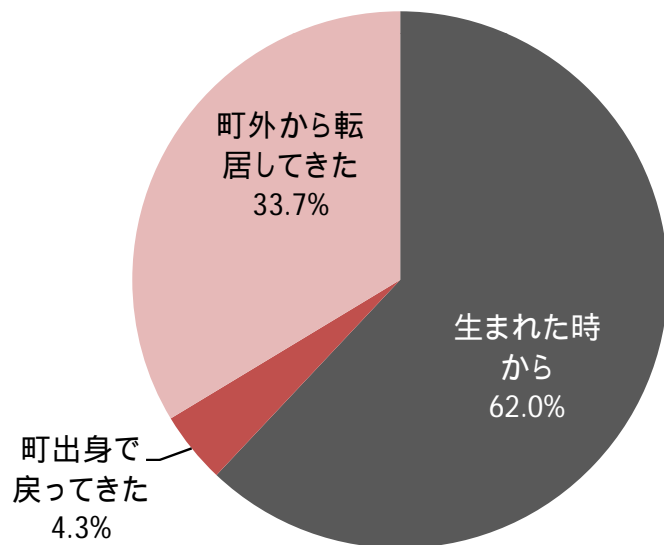
### 3. 中学生アンケート結果 【町内居住経験・転入理由】



「いつから当別町に住んでいますか？」との設問に対し、「生まれた時から」が最も多く62%を占めた。

「当別町に住むことになったきっかけは何ですか？（複数回答可）」との設問には、「転勤のため（24%）」や「住宅購入（21%）」などが比較的多かった。

【図表】 町内居住経験



【図表】 当別町への転入理由

転入理由	選択数	選択率
自身・家族の就学のため	2	1.5%
自身・家族の就職のため	5	3.6%
自身・家族の転勤のため	33	24.1%
自身・家族の転職のため	2	1.5%
自身・家族の離職・引退のため	1	0.7%
結婚・離婚など家庭の理由	15	10.9%
親(子)との同居・近居のため	20	14.6%
子育て環境上の理由	20	14.6%
健康上の理由	8	5.8%
通勤、通学の利便性のため	2	1.5%
住宅購入	29	21.2%
北海道移住・郊外移住	4	2.9%
その他	19	13.9%
当該設問の有効回答数	137	

選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。



### 3. 中学生アンケート結果 【中学卒業後の進路】



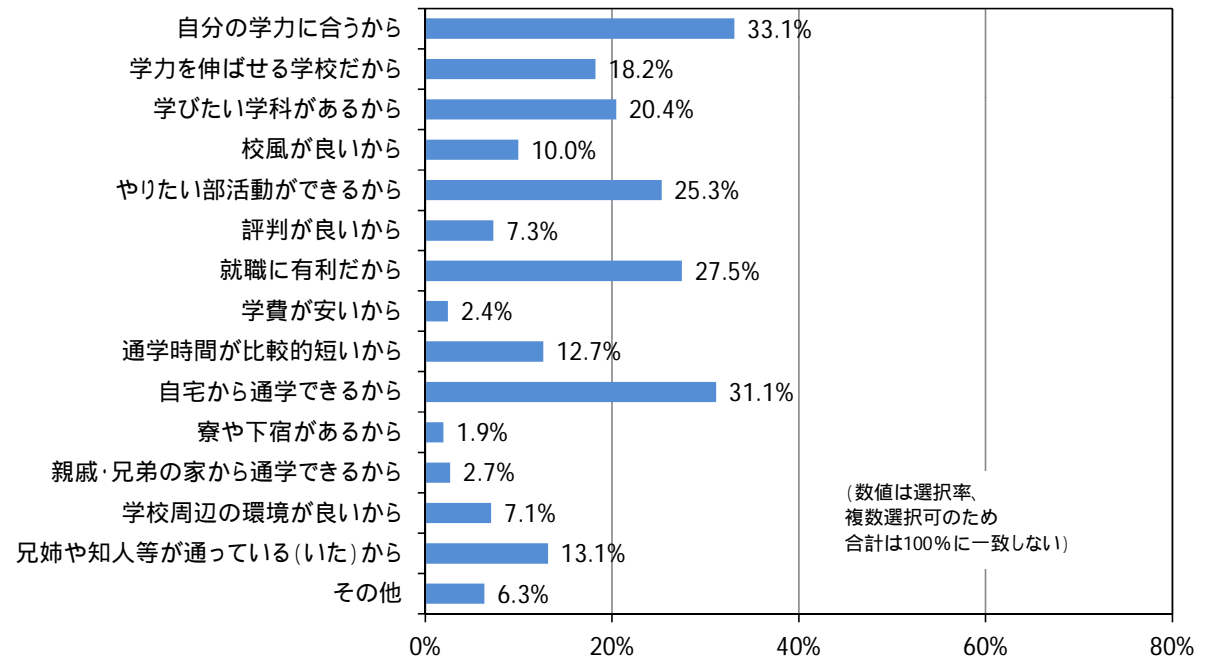
中学卒業後の「進学先の市町村名」では「札幌市」が最も多かった。  
高校進学先の選択理由では、「自分の学力に合うから（33%）」が最も多く、次いで「自宅から通学できるから（31%）」が多かった。

【図表】 志望進学先の市町村

		回答数	構成比
道内	札幌市	226	69.8%
	当別町	33	10.2%
	石狩市	20	6.2%
	江別市	8	2.5%
	ほか道内	26	8.0%
道外	7	2.2%	
未定	4	1.2%	
合計	324	100.0%	

無回答を除く

【図表】 高校進学先の選択理由



選択率 = 選択肢の回答数 ÷ 当該設問の有効回答数。

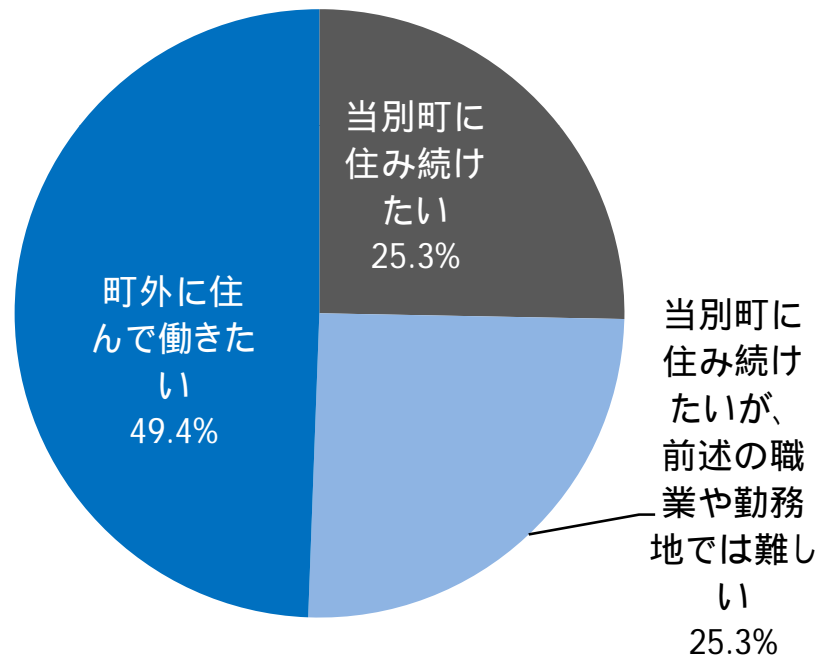


### 3. 中学生アンケート結果 【将来の居留意向】



「就職後も当別町に住んでいたいと思いますか」との設問に対し、「町外に住んで働きたい」が最も多く49%を占めた。「当別町に住んでいたいけれど、前述の職業では難しい」と「当別町に住み続けたい」は各25%であった。

【図表】 将来の居留意向



無回答を除く



### 3. 中学生アンケート結果 【住んでいたい/町外に住みたい理由】



将来「当別町に住んでいたい理由」では「住み慣れた町だから（78%）」が最も多く、「町外に住みたい理由」では「通勤の利便性を求めて（60%）」「買い物や娯楽などの利便性を求めて（55%）」などが多かった。

【図表】 当別町に住んでいたい理由

	選択数	選択率
家族と一緒に生活したいから	77	43.0%
住み慣れた町だから	139	77.7%
友人がいるから	66	36.9%
日常生活が便利だから	30	16.8%
住宅条件が良いから	21	11.7%
その他	29	16.2%
当該設問の有効回答数	179	

【図表】 町外に住みたい理由

	選択数	選択率
通勤の利便性を求めて	118	59.9%
買い物や娯楽などの利便性を求めて	108	54.8%
医療や福祉サービスの利便性を求めて	28	14.2%
積雪や冬の寒さの負担軽減を求めて	45	22.8%
独り暮らしをしたいから	71	36.0%
その他	28	14.2%
当該設問の有効回答数	197	